

# アジア・アフリカ ラテンアメリカ

今月の読み物

- 2面 日本 AALA 定期大会
- 3面 来賓あいさつとメッセージ一覧
- 4~5面 大会での発言
- 6~7面 大会で採択された活動方針
- 8面 大会宣言

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2015年11月1日 No.664

本、平和・協力・繁栄の東アジア共同体の構築をめざして

## JAPAN AALA 第52回 定期大会

2015年  
10月3日~4日



10月3、4日に、日本 AALA 第 52 回定期大会が都内で開かれ、全国から約 100 人の代議員・役員などが参加しました。大会では、2年間の

とりくみと決算の報告、新たな情勢、活動方針、予算などの提案について熱心な討論がおこなわれ、すべての議案が採択されました。

### 日本AALA 創立60周年 バンドン会議60周年

### 記念レセプションを開催



10月3日、日本 AALA 創立 60 周年、バンドン会議 60 周年記念のレセプションがひらかれました。

日本 AALA の会員とともに、多くの団体の方も参加し、お祝いと連帯のご挨拶をいただきました。また、スライド「日本 AALA のあゆみ」(大阪 AALA 吉田信夫氏作成)も上映されるなど、連帯と確信が深まるものとなりました。

大会  
概要

# 実践にもとづく積極的な発言が次々

## 新事務局長に 野本久夫氏を選出

大会は、議長に埼玉の野本久夫さん、大阪の上村得世さんを選出。主催者挨拶で小松崎栄代表理事（写真）

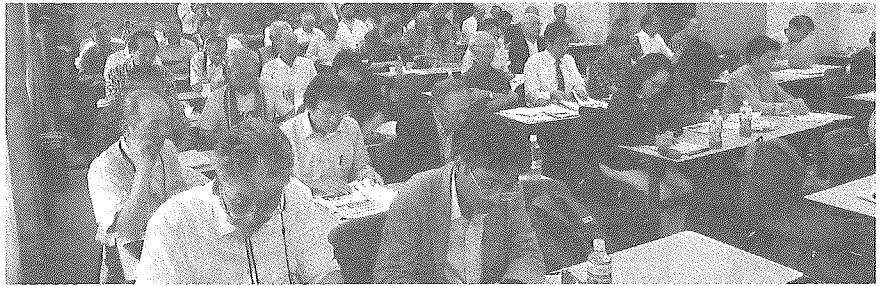


は、『戦争法』廃止をめざす国民連合政府樹立などの3つの提案を歓迎し、その実現にがんばる。安倍内閣の軍事同盟強化路線の対案として『平和・協力・繁栄の東アジア共同体』創設に向けたとりくみを強める」と述べました。

来賓として、キューバ共和国のエリザベス・バルデス・ミランダ大使館次席・政務参事官、パレスチナのワリード・アリ・シラム駐日日常駐総代表部大使、ベネズエラ・ボリバル共和国のセイコウ・イシカワ駐日大使、日本共産党緒方靖夫副委員長長の4人の来賓の方から連帯のご挨拶を受けました(3ページに掲載)。

その後、小松崎栄代表理事、田中靖宏常任理事、澤田有常任理事から、とりくみや決算の報告、情勢、活動方針、予算案などの提案がありました。これを受け、代議員から、情勢問題、憲法擁護と「戦争法」反対、核兵器廃絶や原発ノー、国際シンポジウム、国際署名、組織の拡大強化など、実践に裏打ちされた熱心な討論が展開され、感動と確信を広げました。そして、すべての提案が圧倒的多数で採択され、「戦争法」廃止の一点で広範な国民合意にむけて全力を尽くすなどを内容とする大会宣言も採択されました。

さらに、活動方針実現の先頭に立つ役員が満場一致で選出され、野本久夫新事務局長から、団結し



てがんばる決意が述べられました。最後に澤田有新代表理事の音

頭で、力強く団結ガンバロウをして、大会は成功裏に終わりました。

## 新役員紹介

顧問：秋庭稔男、四ツ谷光子  
代表理事：小松崎栄、澤田有  
事務局長：野本久夫  
事務局次長：佐川徹二  
監事：浦野保範、橋口達生  
常任理事：有吉節子（元京都



左より沢田、小松崎、野本、佐川の各氏

市会議員)、井村弘子（元兵庫県会議員)、石山久男（前歴教協委員長)、上村得世（元大阪私学助成を進める会会長)、大西広（慶応大学教授)、大村哲（BI総研代表)、河内研一（元高校教師)、北村実（早稲田大学名誉教授)、坂本恵（福島大学教授)、新藤通弘（ラテンアメリカ研究家)、高島悦子（本部)、高林敏之（アフリカ研究家)、田中靖宏（ジャーナリスト)、林俊光（地域運動家)、日野川勇一（税理士)、那須稔雄（元山形大学教授)、真嶋良孝（農機連副会長)、松井幸博（元労組役員)、八木知彦（元労組役員)、山本富士夫（福井大学名誉教授)、吉澤文寿（新潟国際情報大学教授)、吉田万三（元東京足立区長)、伊藤恵夫（北海道)、小林立雄（宮城)、佐藤龍雄（埼玉)、岡阿弥靖正（千葉)、高橋昌平（東京)、本田久美子（京都)、(大阪)、白石勉（兵庫)

理事（43人）

専門部部長（大会後の第1回理事会で選出）国際：田中靖宏、学術研究：河内研一、教宣：野本久夫、財政：高島悦子、組織：小松崎栄、澤田有

## 決意表明

野本 久夫 事務局長

AALAの活動に参加して約30年になります。埼玉アマンドラ公演が2500人参加で成功したことをよく覚えています。定期大会で選出された常任理事、理事などのみなさんはさまざまな分野の方々と、活躍が期待されます。

今年の5・24国際シンポジウムの運営、報告集の発行にとりくみました。報告集の校正で全員の発言を5、6回読み返すなかで、東アジア平和共同体の構築をめざすとりくみに確信をもちました。諸活動の推進、AALAの拡大、強化のためともがんばりましょう。

## 第52回定期大会 来賓のご挨拶

### キューバ共和国

エリザベス・バルデス・ミランダ 大使館次席・政務参事官

核兵器の廃絶、連帯と正義に基づく新しい世界秩序のために、非同盟運動の存在と活動は絶対に必要なものです。そのためにたたかう日本 AALA に深い尊敬と賛美の念を表明します。キューバは高い代価を払って独立と主権を守りぬき、米国と国交回復し、関係正常化のプロセスを開始しました。その成果は、対話と平等の結果です。外部からの押し付けなしに、開かれた討論で進んだ考えを受け入れ、成果を守りながら、体制の改善をしていきます。



### ベネズエラ・ボリバル共和国

セイコウ・イシカワ駐日大使

日本 AALA は、ベネズエラ革命の成果の普及でパイオニアの役割を果たしました。ベネズエラを米国の脅威だとしたオバマ大統領による大統領令の撤廃に向けた運動での支援は特筆できます。ベネズエラがめざす新しい世界の均衡は、平等・連帯・国際協力の原則に立ち、多国間主義と平和的共存を強化する国連憲章に則ったものです。ヒロシマ・ナガサキ 70 周年。平和と核軍縮、社会開発を保証する経済体制の構築を目指すことが絶対的に必要です。



### パレスチナ

ワリード・アリ・シラム駐日常駐総代表部大使

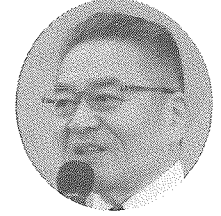
パレスチナは独立国家への合法的権利を奪われたままです。イスラエルの占領は最悪の人権侵害です。オスロ合意以来、パレスチナは 22% 占有を受け入れたのに、イスラエルは違法な入植地の拡大と土地の接収をつづけています。和平を拒否しています。撤退やその条件を決めるのはイスラエルではなく、国際社会の意思です。独立、民主、主権のパレスチナ国家建設を支持し、日本政府にパレスチナ国家承認を促すよう、今後のご支援を期待します。



### 日本共産党

緒方靖夫副委員長

5・24 国際シンポジウムの成功、ASEAN 訪問後の「知りたかったアセアン」発行など、いきいきとした、値打ちのある活動に敬意を表します。いま、戦争法廃止の活動は、国会で多数派をつくり、2014 年 7 月 1 日の「閣議決定」を廃止する政府を実現することです。これには大義があり、政党、団体、個人と懇談しています。世論と運動が決定的であり、ご支援を願います。いま、日本 AALA の出番であり、「入って楽しい、学んで楽しい、仲間を増やしてもっと楽しい」大きい組織を期待しています。



## 大会に寄せられたメッセージ一覧

AAPSO、AAPSO ネパール、安保破棄中央実行委員会、株式会社きかんし、自由法曹団、新日本婦人の会、全経済産業労働組合、全国印刷出版産業労働組合総連合会、全国商工団体連合会、全国生協労働組合連合会、全国地域人権運動総連合、全国労働組合総連合、全日本教職員組合、全日本金属情報機器労働組合、全日本赤十字労働組合連合会、全日本年金者組合、全国農業協同組合労働組合連合会、全法務省労働組合、東京都教職員組合、日朝協会、日本国家公務員労働組合連合会、日本国民救援会中央本部、日本自治体労働組合総連合、日本中国友好協会、日本母親大会実行委員会、日本平和委員会、日本ユーラシア協会、婦人民主クラブ、日本民主青年同盟中央委員会、セイコー・イシカワ駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使、南 基正・ソウル大学日本研究所副教授、劉 成・南京大学教授、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟（祝電）

## ●大会での発言要旨

**井村 弘子** (兵庫)

1963年に日本で2番目に結成されたのが兵庫 AALA。昨年9月体制を整え、再建。東アジアを学ぶ連続講座を開講し、活動中。

**高林 敏之** (常任理事)

戦争法適用の現実が増すアフリカ情勢が焦点に。日本はソブチの自衛隊基地を強化し、不平等な地位協定を押し付けている。

**新藤 通弘** (常任理事)

いまの世界は複雑で、問題は大国間の覇権争い。対処には集団的な検討と精緻な分析が必要。統一戦線論の歴史の吟味を。

**松浦 晴孝** (富山)

「戦争するな!どの国も」署名を1200筆集約。多くの団体と懇談し、要請した結果だ。シリア、難民問題で方針の提起を。

**中村 平治** (東京)

南アジア地域協力連合が発展している。ネパールの王制廃止から連邦制、政教分離。スリランカでは民族の共存へ。

**林 俊光** (茨城)

日本 AALA を集会で紹介、加入を訴え、会員増に。「知りたかったアセアン」150部普及。国際シンポに21人参加した。

**利元 克巳** (広島)

戦争法反対の集会を3回ひらき、1000人、4500人、7500人が参加。11月の「世界核被害者フォーラム」に協力を。

**山本 翠** (愛媛)

沖縄に居住している。「島ぐるみ会議」は7割に広がっている。来年の宜野湾市長選、沖縄県議選、参院選での勝利めざす。

**宮城 恭子** (奈良)

会員が80人近くに。月1回の理事会で30分学習。昨年「慰安婦」デッサン画展示会開催。戦争法反対で11回街頭宣伝を実施。

**河内 研一** (埼玉)

10月埼玉 AALA 創立40周年つどい成功を目指す。戦争法反対のオール埼玉集会は1万400人、1万5000人参加。国際署名の推進を。

**北村 実** (常任理事)

安倍政権は中国脅威論を戦争法提出の理由にした。領土をめぐる係争はTACにならって話し合いで平和的に解決を。

**那須 稔雄** (山形)

9・5総会でベネズエラ大使の講演会を実施。福島の実状をみる現地視察の実施。山形大教授(韓国籍)の講演を聞く。韓国ツアーを計画中。

**小林 立雄** (宮城)

NPT再検討会議に参加した。独自の横断幕を掲げてデモ行進。「戦争するな!」国際署名の推進。反原発をNAM諸国に発信を。

**片岡 満** (北海道)

昨年北海道 AALA 創立40周年。今年は東アジア平和共同体構想を学ぶ年に。毎月11日の定例宣伝を実施。9月に会員を6人拡大。

**山本富士夫** (福井)

大飯、高浜原発の福井地裁判決を評価。脱原発は世界の趨勢。福井 AALA は韓国、フィリピン、台湾の脱原発運動家と連携してきた。





**西村 健史** (大阪)

キューバ大使講演会に300人が参加。講演会の前に、府知事、商工会議所、共産党府委員会などを訪問。質問時間も多くとれ、好評。



**金森 洋司** (福井)

結成して9年目。80人を超えた。学習会、語学講座、文化交流、平和友好の海外への旅を毎年実施。機関紙に会員が登場。



**石山 久男** (理事)

70年安倍談話は歴史の歪曲。育鵬社歴史教科書は目標の10%に届かなかった。戦争法反対と結んだ採択反対運動の成果。



**岡阿弥靖正** (千葉)

戦争法に対し、憲法9条による平和外交の要求が若い人から出ている。中国をどう見るか。どう付き合うかの研究が必要。



**辻崎 忠由** (京都)

昨年事務局長に就く。国際問題の講座例會、語学講座、エスニック料理などを実施。京町屋で、留学生からの話を聞く会を継続。



**上村 得世** (大阪)

入会申込書をいつもカバンに入れ、声掛け。その場で書いてもらう。仲間の増やすのは楽しみ。学習が必要。「たかこの窓」を復活。



**松井 幸博** (常任理事)

横田基地にCV22オスプレイ配備。日本中が訓練場になる。横須賀港の原子力空母R.レーガンの母港化反対。平和大会に参加を。



**上田 敦子** (千葉)

国際シンポと結んで国際署名に取り組む。団体訪問時に返信用封筒も付けて。600筆以上集約。全国の進捗状況、提出先の報告を。



**正保 宏文** (岡山)

拡大が急務である。1月ラオス大使と田中常任理事の話を聞く。来年1月ラオスの旅を計画。岡山民主会館に事務所を開設した。



## 大会議案の訂正・削除・挿入箇所

(機関紙9月号No.662の大会議案頁にそって)

- P.5 5. 女性の社会進出と日本軍 → 女性の人権問題と日本軍  
2013年 → 2014年 (3段目1行目)  
136カ国中105位 → 142カ国中104位 (同3行目)  
就労者、政治家などの面 → 就労者、政治家への面 (同5行目)  
アメリカは3カ国 → 中南米は3カ国 (同13行目)
- P.6 分の補償を含む → 分な補償を含む (1段目1行目)  
吉田証言のもとづく → 吉田証言にもとづく (同18行目)  
こそ求められて → こそ求められて (2段目9行目)  
周辺諸国と間で → 周辺諸国との間で (2段目24行目)
- P.7 生きられない。しかしたたかえば → 生きられない。しかし、たたかえば(3段目7行目)
- P.9 元「慰安婦」の方々を → 元「慰安婦」被害女性を (1段目6行目)  
署名・宣伝など → 署名・宣伝・学習会など (同15行目)
- P.10 運動をすすめたきました → 運動をすすめてきました (2段目下から3行目)
- P.11 7. 地方組織の活動(機関紙掲載の記事からえらんで記述)  
(6. 各種会議の重視の次に入れる)  
7. 事務局体制と → 8. 事務局体制と

# 大会で採択された活動方針

## I 国際連帯運動

### 1. 非同盟諸国首脳会議に参加できる組織として非同盟運動の発展に尽します。東アジア地域に「平和・協力・繁栄の共同体」をつくることをめざす運動を強化し、併せて東アジア友好協力条約、非核地帯条約をつくるために貢献します

- ① 5/24「平和・協力・繁栄の東アジア共同体の構築をめざす国際シンポジウム」の成果の学習と報告を参加者が講師になって各地でおこないます。
- ② 「戦争するな！どの国も」国際署名（1. 自然災害、感染症、環境汚染対策など切実な課題で関係各国や国民同士の話し合いと協力をすすめ、信頼関係を醸成する 2. 不測の事態から紛争を戦争に絶対に発展させないために、相互にまもるべき基本的ルールをつくること 3. 東南アジア友好協力条約（TAC）型を東アジア全体に広げること）を推進します。東アジア首脳会議（EAS）、ASEAN 地域フォーラム（ARF）参加国などに働きかけます。
- ③ 第 17 回非同盟諸国首脳会議へ日本 AALA の代表派遣、AAPSO などの国際会議へ参加します。
- ④ パレスチナ国家の独立を支援する運動を強化し、国家承認を日本政府等に求めます。そのために署名活動を進めます。
- ⑤ 北朝鮮の核開発に強く反対し、六カ国協議の再開を求め、包括的解決を求めます。同時に米韓軍事演習など軍事行動の中止を要求します。
- ⑥ 領土問題を話し合いで解決することを要求し、軍事的対応に反対します。

### 2. 核兵器廃絶の国際連帯運動の強化、非同盟運動の発展と平和共存と非核化に貢献します

- ① 国際会議や外国訪問などあらゆる機会を利用し、日米安保条約や在日米軍基地の本質と害悪の実態、核兵器廃絶などを訴えます。また、日本国憲法を生かし、非核・非同盟実現をめざす日本 AALA の運動を紹介します。
- ② 核兵器廃絶、軍事同盟反対でたたかう国内外の人々や団体との連帯を強めます。
- ③ 福島原発事故の現状と原発の危険性を発信します。

### 3. 非同盟諸国への訪問や各国に市民団体との交流・連帯を強化します

- ① 引きつづき ASEAN 諸国などの訪問ツアーを企画します。
- ② 外国訪問の時には「戦争するな！どの国も」国際署名を持参し、広げます。

## II 国内の運動

### 1. 憲法 9 条は世界の宝。日本国憲法を守り、活かすとともに、「戦争法」廃止、憲法改悪に反対し、安倍政権の打倒、核兵器廃絶、暮らしを守る運動を進めます

- ① 日本共産党の「戦争法」廃止に向けた三つの「提案」（1. 戦争法廃止、安倍政権打倒の運動の更なる発展 2. 「戦争法廃止の国民連合政府」の樹立 3. 「戦争法廃止の国民連合政府で一致する野党が、当面の参議院選挙、衆議院選挙で選挙協力する（要旨）」）を歓迎し、戦争法廃止に賛成する政治勢力が国会の議席で多数を占めるよう

にがんばります。

- ② 歪んだ安倍政権の歴史認識を許さず、村山談話や河野談話の内容の実行を求めるとともに日本軍「慰安婦」問題の早期解決のため学習・宣伝・署名を進めます。海外にも発信します。歴史教科書等の採択に対する権力的介入による、自由社、育鵬社版中学教科書の押しつけ反対、教育介入に反対し民主教育を守ります。
- ③ 特定秘密保護法の実施、言論・報道等に対する政権の弾圧的介入、小選挙区制による虚構の多数議席をかさにきた民意無視の独裁政治に反対します。
- ④ 被爆 70 年を核兵器廃絶の転機とするため日本原水協とともに、核兵器廃絶の署名や宣伝を進め、8 月の原水禁世界大会への参加や広島、長崎などの会員と交流・激励を進めます。
- ⑤ 福島原発の過酷事故から 4 年半になります。原発の再稼働や新増設、原発輸出に反対する運動を反原発全国連絡会などとともに強化します。3.11 被災地訪問など現地の会員や被災者と交流し、国・東電等による被災地の完全復興等を要求します。
- ⑥ 食健連や農民連など関係組織とともに、TPP 交渉からの撤退を求め、TPP 阻止の共同を強化します。
- ⑦ 労働法制の改悪による、生涯派遣労働の押しつけ、低賃金、労働時間強化などに反対し、労働者の生活と権利を守ります。
- ⑧ 年金の削減や健康保険、生活保護など社会保障制度の改悪に反対します。
- ⑨ 男女平等を促進するために女性差別撤廃の 3 署名（女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める請願、民法改正を求める請願、日本軍「慰安婦」問題の最終解決を求める請願）にとりくみます。

⑩在日外国人の生活と権利をまもる運動を進めます。ヘイトスピーチなど他民族蔑視の言動等を批判し、人権を守る取り組みを進めます。朝鮮学校への差別撤廃はヘイトスピーチと並んで国連人種差別撤廃委員会から優先的改善事項として勧告されたものです。

**2. 沖縄新基地建設阻止、在日米軍基地撤去、安保条約廃棄の運動を進め、日本国憲法や非同盟運動の先駆性、軍事同盟の害悪と後進性を明らかにします**

- ①翁長雄志沖縄県知事を先頭にした「オール沖縄」の辺野古新基地建設阻止のたたかいに連帯して、辺野古新基地建設反対の激励ツアー、活動支援などをおこない、日米両政府の建設強行に抗議するとともに現地の人びとへの支援と交流を進めます。
- ②横田基地を初め在日米軍基地強化・拡大に反対し撤去を求める運動を共同しておこないます。オスプレイの沖縄、横田などへの配備、日本全土の訓練場化に強く反対します。日本各地の反基地闘争の支援と交流を進めます。日本平和大会の運動に参加します。
- ③自衛隊の海外派兵・拠点づくりに反対し、ジブチの自衛隊基地強化反対、撤去を強く求めます。
- ④日米安保条約（軍事同盟）の害悪や後進性など非同盟運動の学習と宣伝を進め、非核・非同盟の日本をめざし政治の革新に努めます。

**2. 全国で交流・激励しあい、情勢や存在意義にふさわしい組織に拡大・強化を進めます**

- ①あらゆる機会を生かし、非同盟運動と非同盟諸国首脳会議に参加できる日本 AALA の存在意義を広めます。
- ②国連憲章、バンドン 10 原則など非同盟運動と「平和・協力・繁栄の東アジア共同体」の学習を進め、非同盟運動こそ 21 世紀の本流であることを広めます。
- ③魅力ある連帯・学習・文化交流をつくるため努力します。

**3. 次期大会（2017 年）までに 5000 人の組織実現のため、この 1 年間で 4000 人にします**

- ①日本 AALA の存在意義の学習を強め、確信を深め、連帯運動に参加します。
- ②日本 AALA の課題や役割などを明らかにし、各種団体との交流・共同を發展させます。
- ③全都道府県に組織を確立します。
  - i . 常に対象者名簿などを整備し、不断の拡大に努めます。
  - ii . 都道府県内の労組、団体などに加入を訴えます。政党とは一致する課題で協力・共同します。
  - iii . 職場、地域、学園などに支部を結成し、支部内での交流と会員拡大のとりくみの前進を図ります。

- iv . 若者、女性の比率を高め、組織の活性化を図ります。
- v . 支部を持つ都道府県は、その地域の特色を生かした支部活動を活発に行います。
- ④若者・女性・教師のつどいの実施をめざします。
- ⑤都道府県組織の代表・事務局長などが参加する会議などを多様な形で開催し、方針の具体化、経験交流と活動の教訓を学びあいます。

**4. 連帯運動を支える財政の充実と各部の改善や事務局体制を確立します**

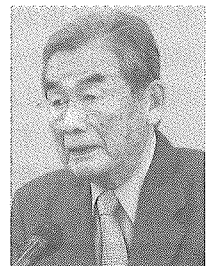
- ①運動の前進と事務局体制を支える財政の一層の充実と確立をめざします。そのために、オスパーコーヒーなどの物品、AALA 発行の出版物などの販売を促進します。オスパーコーヒー事業の発展は運動と AALA の存在意義を高めるものとして重視します。
- ②専門部の改善と充実をはかります。常任理事は個々の希望に基づき、いずれかの部に入り運動の前進にあたります。
- ③全国の組織と運動に対応でき、内外情勢や AAPSO、大使館、在日外国人、国際関係機関との関係強化、情報・宣伝の時代にあわせて対応できるように事務局体制を確立します。ホームページの充実、IT の活用に努めます。

**Ⅲ 運動の前進と組織拡大・強化のために**

**1.AALA 独自の活動として「戦争するな！どの国も」の国際署名を推進します**

**閉会の挨拶**

澤田 有 代表理事



大会宣言を確認しましたが、閉会挨拶はそれに尽きるものです。

秋庭さんと四ツ谷さんのことをご報告します。おふたりとも前回大会後に病気あるいは骨折のため長期に入院しました。秋庭さんは退院し、言葉は不自由ですが、リハビリに励んでいます。四ツ谷さんもお元気になりました。おふたりとも高齢になっ

ています。私たちはおふたりの志を受け継いで戦争法廃止のため、東アジア共同体の構築、国際署名の推進のため、日本 AALA を次期大会までに 5000 人にしようではありませんか。

## 大会宣言

私たちは今日、深くゆたかな討論によって世界の流れと変化をとらえ、2年間の活動を総括して新しい活動方針を確立しました。

こんにちの世界では、さまざまな停滞や困難、混乱、逆流を含みつつ、平和の地域共同体づくりが着実に前進しています。これは、経済や文化のグローバル化と緊密化のもとで、軍事同盟への依存は安全を保障せず、紛争解決に無力であるばかりか、戦争の危険を高めるものであることが明らかとなるもとの歴史的変化です。東南アジア諸国連合（ASEAN）が年内に経済共同体を発足させ、イランの核開発問題が平和的交渉によって解決に向かい、キューバ共和国とアメリカ合衆国の国交回復がすすむなど、目に見える変化が起きています。かつて世界を取り仕切った米国をはじめとする先進諸国はその力を失いつつあります。かわって新興国、途上国といわれる多くの国ぐにが発言力と存在感を大きくし、この国ぐにが多数を占める国連が権威を高めています。

この流れにあって、どこまでも軍事同盟にしがみつき、日米新ガイドラインに基づいて米国の戦争に協力する国づくりへ暴走する安倍内閣の行動は、異常です。それは憲法9条にもとづく平和主義によって少なからず培われ、日本 AALA が連帯活動のなかで蓄積してきたアジア諸国と世界からの信頼を損ない期待を裏切って日本を孤立させる道です。国家主権と民族自決権を米国に売り渡し、一片の閣議決定で憲法の解釈を変え、暴力的な強行採決で戦争法を成立させたファシズム的な手法は、日本の立憲主義と社会規範を根底から崩壊させる危険に陥れました。この暴挙とたたかって平和主義と民主主義、立憲主義をとり戻すことは、いまや私たちの緊急の課題であり、今後の国際連帯を発展させる上での必須の条件となっていると考えます。

この立場から私たちは、戦争法の廃止と閣議決定の撤回の一点で広範な国民合意を形成し、この目標を実現し得る政治勢力をつくり出すために、全力を尽くすことを確認しました。そのために個別の課題で意見の一致しない勢力とも、その課題

を脇において協力することが必要です。

同時に私たちは、沖縄辺野古に米軍基地をつくらせず、原発再稼働を阻止し、核兵器禁止の実効ある国際協議を求め、国民の基本的な人権を守る諸課題にとりくむなど、活動の全面発展をめざします。なかんずく、「戦争するな！どの国も」東アジア共同体国際署名の重要性を再確認し、大いに広げることがあらためて決定しました。

日本 AALA の存在意義を発揮してこれらの活動を前進させるために、組織の拡大・強化は喫緊の課題です。

バンドン会議 60 年、日本 AALA 創立 60 年、戦争終結・国連創設 70 年の節目にあたって、本大会で決定・確認した方針を生かして、力を合わせて前進しようではありませんか。以上、宣言します。

2015 年 10 月 4 日

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会  
第 52 回定期大会

### 東アジア首脳会議への提出へ

各県 AALA が持っている「戦争するな！どの国も」国際署名を日本 AALA 事務所に至急送って下さい。10/16 現在で、7500 筆、団体署名 180 筆を集約しました。10,000 筆を超えたら、東アジア首脳会議議長国の駐日マレーシア大使館に提出します。

### 募集

2016 年 1 号の表紙に載せる「カラー写真」を募集します。外国の子どもたちが写っている写真に限ります。採用された方には薄謝進呈します。12/10（木）しめきりです。

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA  
SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒 160-0022 東京都新宿区新宿 2-11-7 第 33 宮庭ビル 4 階  
電話：03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>  
FAX：03 (3357) 6255 E-mail：info@japan-aala.org  
振替 00110-6-72434 毎月 1 回 1 日 発行 1 部 150 円（送料 62 円）